

News Release

2012年10月3日

転職サービス「DODA(デューダ)」

平均貯蓄額 338 万円。3 年連続で増加
景気回復で収入増加も、将来への不安に備える人が目立つ
～ ビジネスパーソン 5,000 人 貯蓄額の実態調査 2012 ～

株式会社インテリジェンス(本社:東京都千代田区、代表取締役兼社長執行役員:高橋広敏)が運営する転職サービス「DODA(デューダ)」<<http://doda.jp/>>は、22～34 歳のビジネスパーソン 5,000 人を対象に、貯蓄額の実態調査を行いましたのでお知らせします。

※ 年齢別、職種別、都道府県別、年収別それぞれの、平均貯蓄額や貯蓄分布など、調査結果の詳細は DODA サービスサイトにて公開しています。

<http://doda.jp/guide/chotiku/>

【 調査結果 】

【2012 年度の貯蓄額】 平均貯蓄額は 338 万円。3 年連続で増加

22～34 歳の平均貯蓄額は 338 万円で、3 年連続で増加。増加の要因を聞いたところ、「給料やボーナスが増えた」「株式投資や FX などの運用がうまくいった」といった景気回復によるものが目立ちました。一方、「貯蓄に回す金額を増やした」「会社の積立制度に加入した」といった理由も多く、年金問題や日本経済の縮小など、将来に不安を抱える人が意識的に消費より貯蓄を選択する傾向にあることがわかりました。 <図 1 参照>

【貯蓄分布】「50 万円未満」が最多の 23%。半数以上は 200 万円未満

貯蓄額の分布を見ると、「50 万円未満」が最も多く 23%、次いで、「100～200 万円未満」(18%)、「50～100 万円未満」(14%)が続き、半数以上の方は貯蓄額が 200 万円未満という結果となりました。一方、「500～1,000 万円未満」(12%)、「1,000 万円以上」(7%)という高額貯蓄者も 2 割近くいることがわかりました。 <図 2 参照>

【職種別】 平均貯蓄が最も多い職種は「投資銀行業務」。仕事で培った投資ノウハウを貯蓄に活用

平均貯蓄額が最も多い職種は「投資銀行業務」の 554 万円。貯蓄分布を見ると、「500～1,000 万円未満」が 42%、「1,000 万円以上」が 24%を占めており、他職種に比べ高額貯蓄者が多い傾向が見られます。貯蓄方法を聞いたところ、仕事で培った投資ノウハウを国債、為替運用に活かしているといった回答がみられました。

次いで、2位の「経営企画／事業企画」(512 万円)をはじめ、3位の「法務／知財」(490 万円)、4位の「人事」(486 万円)、5位の「総務・庶務」(477 万円)と、企画・事務系の職種が上位を占める結果となりました。貯蓄方法は、定期預金や会社の財形貯蓄制度で自動的に毎月貯蓄する仕組みを活用している人が多いようです。 <図 3 参照>

【年収別】 貯蓄額の高い「年収 800～900 万円未満」。投資や節約で貯蓄増加の工夫

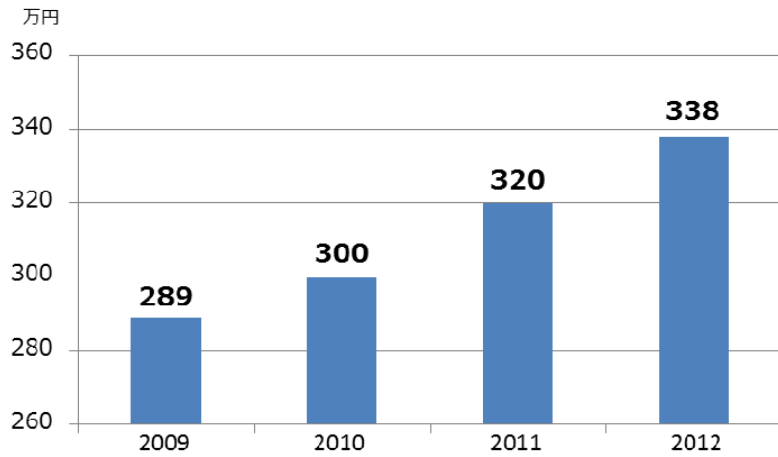
「年収 200 万円未満」の人の平均貯蓄額は 124 万円、「年収 500～600 万円」は 484 万円、「年収 1,000 万円以上」は 1,577 万円と、年収の上昇に比例して平均貯蓄額も右肩上がりに増加する結果となりました。

ただし、唯一「年収 800～900 万円未満」の貯蓄額は、「年収 900～1,000 万円未満」の貯蓄額に比べ、約 100 万円多いことがわかりました。それぞれに貯蓄方法を聞いたところ、「年収 900～1,000 万円未満」の人は「給料の一部を貯蓄に回している」といった自然に貯蓄が増えたというケースが多い一方、「年収 800～900 万円未満」は「節約」「株式運用」など、貯蓄を意識して増やそうとしている人が多いことが要因だと考えられます。 <図 4 参照>

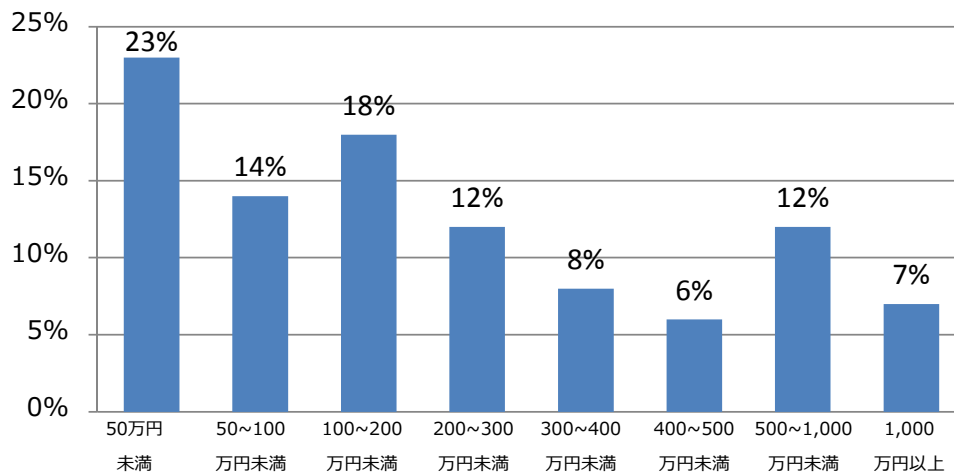
本件に関するお問合せ先

<http://www.inte.co.jp/corporate/other/inquiry.html>

<図表 1> 平均貯蓄額の推移



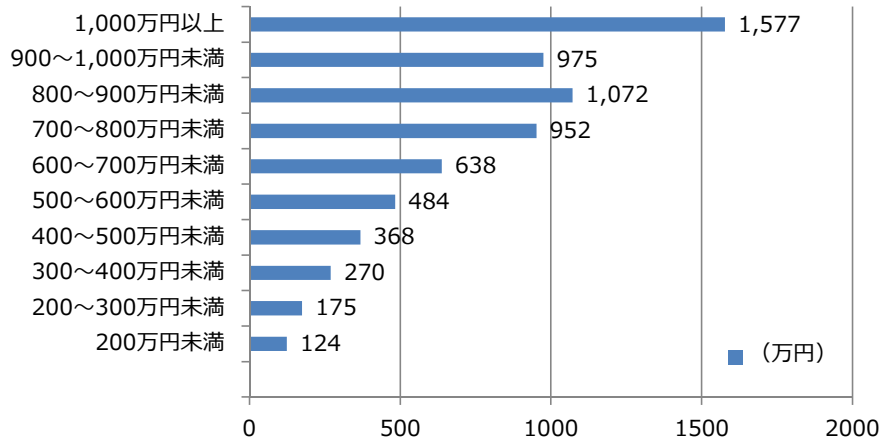
<図表 2> 貯蓄分布



<図表 3> 職種別 貯蓄額ランキング

順位	職種名	平均貯蓄額 (万円)
1	投資銀行業務	554
2	経営企画/事業企画	512
3	法務/知財	490
4	人事	486
5	総務・庶務	477
6	購買/物流	470
7	社内SE	466
8	経理・財務	465
9	研究開発	451
10	薬剤師	450

＜図表4＞ 年収別 平均貯蓄額



【調査概要】

- 対象者： 22歳～34歳のホワイトカラー系職種の男女
- 雇用形態： 正社員・契約社員
- 調査手法： ネットリサーチ会社を利用したインターネット調査
- 実施期間： 2012年3月5日～2012年3月6日
- 有効回答数： 5,000件

「DODA」について <<http://doda.jp/>>

「DODA」は、専任のキャリアコンサルタントによる「転職支援」とインターネットサイト上での「求人情報」という2つのサービスをワンブランドで展開する転職サービスです。ブランドスローガン「いい転職が、未来を変える。」のもと、より多くの転職希望者、人材を採用する企業がともに成長し、より良い未来を切り開いていくことを目指し、人と組織の最適なマッチングを目指してまいります。

【サービスラインナップ】

- 転職の総合情報サイト『DODA』 <<http://doda.jp/>>
- IT・モノづくり系エンジニア専門の転職サイト『DODA エンジニア』 <<http://doda.jp/engineer/>>
- 医療業界専門の転職サイト『DODA メディカル』 <<http://doda.jp/medical/>>
- 営業・販売サービス職専門の転職サイト『DODA セールス』 <<http://doda.jp/sales/>>
- 金融業界専門の転職サイト『DODA ファイナンス』 <<http://doda.jp/finance/>>
- 企画・専門職専門の転職サイト『DODA スペシャリスト』 <<http://doda.jp/specialist/>>
- エグゼクティブ・管理職の転職支援『DODA エグゼクティブ』 <<http://doda.jp/executive/>>
- 障がい者の求人『DODA チャレンジ』 <<http://doda.jp/challenge/>>